

予 算 要 求 資 料

令和2年度12月補正予算 支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

事業名 新型コロナウイルス感染症医療機関再開支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療整備係 電話番号：058-272-1111 (内 2588)

E-mail： c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 4,905 千円 (現計予算額：2,405 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	2,405	2,405	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	4,905	4,905	0	0	0	0	0	0	0
決定額	4,905	4,905	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・県内で多くの医療機関で診療の一部を停止、休業を余儀無くされており、次の流行に備え、すみやかに診療が再開できるよう支援を行っていく。

(2) 事業内容

- ・新型コロナウイルスが発生し、医療機関の全業務の休業、入院業務の休止、外来業務の休止、入院病棟の一部休棟、新規入院の休止、外来の一部閉鎖を行った医療機関に対し、再開・継続のための設備整備費等を補助する。

(3) 県負担・補助率の考え方

○設備整備費等

- ・HEPA フィルター付き空気清浄機
905,000 円/台 (1 医療機関あたり 2 台まで)

- ・消毒経費等
600,000円（1医療機関あたり600,000円）

○補助率

- ・補助率 国 1/2（新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金）
事業者 1/2

（４）類似事業の有無

- ・類似事業なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	4,905	業務の休止・一部休止を行った医療機関の再開・継続に向けた消毒経費等に対する補助金
合計	4,905	

決定額の考え方

4 参考事項

（１）各種計画での位置づけ

- ・新型コロナウイルス感染症「非常事態」総合対策(R2.4.10)

（２）国・他県の状況

○国方針

- ・「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」について(R2.4.7)
- ・新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針(R2.3.28)

（３）後年後の財政負担

- ・第三波に備え引き続き支援していく必要がある。

（４）事業主体及びその妥当性

- ・国が定めた緊急包括支援交付金交付要綱に、都道府県の補助事業であることが定められている。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 新型コロナウイルス感染症の流行の第三波に備え、すみやかに診療が再開できるよう支援を行う必要がある。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
	(H)	(H) (H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H) (H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症の流行の第二波、第三波を予測することは、困難であり、その都度対策を柔軟かつ迅速に実施する必要がある。

（前々年度の取組）

（前々年度の成果）

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	新型コロナウイルスの流行の第二波、第三波が来ることが予測されており、これらに備えるため、早急な医療体制の確保が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	必要な医療機関に対して、補助を行う。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の流行の第二波、第三波を予測することは、困難であり、その都度対策を柔軟かつ迅速に実施する必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内の感染状況や国の対策など、刻一刻と変化する乗整を的確に分析し、必要な対策を柔軟かつ迅速に実施していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】